



垣内 律希さん  
(松波中3年)

【質問】 中学校統廃合後の伝統の継承について、各学校の沿革がわかるスペースや、伝統を学ぶ機会を作ってはどうか。  
【教育長】 能登町では今年度より、中学校の統合に向けた検討が始まっている。地区説明会のご意見、要望も含め、統合準備委員会等で展示に向けて協議していきたいと考えている。また、伝統を学ぶ機会や校歌、応援歌を歌う機会については、歌のデジタル保存を含め、学校だけでなく公民館等とも連携し、各学校の伝統を残すようにしていきたいと考える。



北濱 夢華さん  
(松波中3年)

【質問】 農業者の後継者問題について、新規参入者の初期投資問題による農業の後継者不足の対策として「通勤農業」を提案する。  
【町長】 将来に向け、しっかりとした青年等就農計画を立てた新規就農者に対し、各課題に対応できるよう、町や、石川県、そしてJAや農業委員会等が連携したサポートチームを形成し、相談や指導を行い、継続して営農できるように支援している。新規就農者や後継者に対する初期投資への支援も行っており、就農開始時の不安定な経営状況に対応している。



井島 由菜さん  
(能都中3年)

【質問】 情報共有の整備や協力体制はどうなっているのか。また、子育て支援拡充として児童手当を増額してはどうか。  
【町長】 町民が行政全般の情報を共有できるように、広報紙、防災行政告知施設等を整備している。各種団体等と相互に協力できる体制も整っており、今後も地域住民への情報の発信に努めたい。児童手当は国が定めた制度であり当町だけが金額を変更できる制度ではないが、当町が独自で定めた制度は、ニーズにあわせ見直しを図りながら充実させていきたい。



川崎 陽香さん  
(柳田中3年)

【質問】 能登町のホームページをもっと見やすくわかりやすくして改善してはどうか。  
【町長】 3つの提案のうち、バナー位置を改善し情報を探しやすくすること、リンク表示の工夫をすることは、ホームページの抜本的な改修が必要となり多額の費用もかかることから、今すぐの対応は難しい。行事案内等をホームページのカレンダーに定期的に情報発信することについては、すぐに行うことなので、職員に周知徹底していきたい。



【議長を務めて】



議長を務めた  
森 泰一郎さん  
(松波中3年)

子ども議会に議長として参加し、とても緊張しました。子ども議員の皆さんは、能登町の課題について真剣に考え、解決策を用意し、しっかりした考え方を持っていると었습니다。町長や教育長の答弁から、現状を詳しく知ることができ、より深く考えることができました。しかし、今、能登町が抱えている課題は、簡単には解決できるものではないということがわかりました。これからは、少しでも能登町がよくなるように、できることを積極的に協力していきたいと思っています。私は祭りが好きなので、無くならないでほしいし、祭りに積極的に参加し魅力を伝えていきたいと思っています。

能登町子ども議会が8月29日、議場で開催され、議長役である松波中3年生森泰一郎さんの議事進行のもと、町内4中学校から10人の子ども議員が登壇しました。一般質問では、町に対する要望や町の取り組みに関する疑問、能登町の未来のための提案などを堂々と述べました。

# 子ども議会



渡 頼士さん  
(能都中3年)

【質問】 海洋ゴミ問題に対し、能登町はどのように取り組んでいるのか。1人1台端末にアプリを入れて活用できないか。  
【町長】 国に対して対策の確立を図るよう継続して要望を行っている。町民自らのごみ拾いと、個々がSNSも活用し、清掃の取組と美化に協力いただきたい。  
【教育長】 学校の端末に、不特定多数の方々とやり取りができるアプリの活用は、セキュリティ等の管理の観点から行っていない。必要な場合は、学校として申し出をお願いしたい。



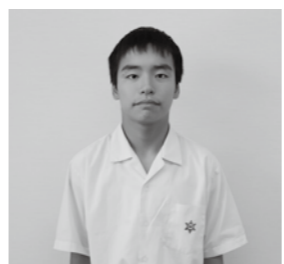
谷内 史育さん  
(松波中3年)

【質問】 地域社会を存続させるため、新しい旅の形を利用し、能登町で採れる魚を全国に発信することを提案する。  
【町長】 インターネットによる直送販売は良い面もあるが、受注調整や配達対応、それに伴うコスト増やリスク対応など難しい面もある。「おてつたび」等は事業者側が受け入れる態勢を作る必要があり、町が直接漁業等一次産業者と旅行者を繋ぐことは難しいが、関係団体等を通じ情報発信に努め、地域の課題解決に向けた取り組みへの支援を行ってほしい。



養島 大悟さん  
(能都中3年)

【質問】 能登町の耕作放棄地について、耕作放棄地の問題解決と地域振興の両方を目指すイベントの開催を提案する。  
【町長】 当町の耕作放棄地は年々増加傾向にあり、その原因には高齢化や後継者不足等が考えられる。行政が若者に農業の魅力を伝え後継者を育成すること、効率的な経営に向けた取組みをサポートすることも重要である。JAなどの専門機関と協議し、持続可能な農業社会の実現を目指し、できることは取り組んでいきたいと考える。



灰谷 一輝さん  
(小波中3年)

【質問】 都市部への人口流出について、子育て支援設備の大幅増加と交通網の発展を提案する。  
【町長】 産科医不足は当町だけの問題ではなく、県で「赤ちゃん協議会」を立ち上げ、産科医の確保等の協議を進めている。当町では「安心して子育てができる環境づくり」を進めており、引続き支援サービスの内容を検討しながら充実させていきたい。バスの本数を増やすこと電車の復活は困難である。現在の路線を維持するため、公共交通の利用をお願いしたい。



今井 和佳奈さん  
(能都中3年)

【質問】 人口減少対策として、進学先に能登町内で水産専門大学を創ることを提案する。  
【町長】 将来的に水産専門大学を誘致できれば理想だが、まずは能登高校の水産コースの全国募集を契機に、能登高校の水産コースの充実や拡充への支援と、能登高校から始まる水産に関連した関係人口の創出を充実させ、創生総合戦略の実現を図りたく思っている。みなさんには是非とも能登高校へ進学し町の課題解決、地域活性化等にご尽力いただきたい。



中村 渚奈さん  
(柳田中3年)

【質問】 冬の道路の危険から子どもからお年寄りまで幅広い方々を守るため、滑り止め剤が入った砂の利用を提案する。  
【町長】 滑り止め用の砂については、凍結した横断歩道等において一定の滑り止め効果はあると考えられるが、雪解け後に道路清掃が必要となるなどの課題がある。凍結時の横断歩道等への散布や道路清掃など、周辺地域の方や柳田中学校の協力が得られるのであれば、中学校へ登る坂道での凍結防止剤や砂の配置を試験的にやりたいと思うので、協力をお願いしたい。

## 子ども達の登下校を見守る

宇出津っ子見守り隊 代表の本谷正治さんが8月28日に能登町役場を訪れ、眞智教育長に石川県教育委員会表彰を受賞したことを報告しました。

長年にわたり児童の登下校時に通学路に立ち、街頭指導や防犯パトロールなどを今日まで実施してきた本谷さんは「登下校を見守る」簡単なことですが、子どもの相談に乗ったり、突発的なことも起こるため今後も活動を続けていきたい」と話してくれました。



左より坂口宇出津小学校長、本谷さん、眞智教育長

## 無事故を願いミラー磨く

9月21日、能都ロータリークラブが、カーブミラー清掃活動を行い、地域の交通安全を願いました。

出発式では、吉村修珠洲警察署長があいさつし、会員のほか、町商工会・興能信用金庫職員・珠洲警察署員らおよそ30人の参加者は、班ごとに分かれて宇出津地内に設置した60基のミラーを磨きました。

カーブミラー清掃は、地域社会への貢献を目指し、社会奉仕の一環として毎年行っています。



カーブミラーを磨く会員たち

白熱したチーム同士による接戦の様子



## 第9回能登町老人クラブ連合会スカットボール大会

能登町老人クラブ連合会が主催する第9回能登町老人クラブ連合会スカットボール大会が9月15日、内浦総合支所で開かれました。同連合会の会員が対象。1チーム4人で編成された総勢18チーム72人が集まり、会場では参加者の皆さんが生き生きとスカットボールを楽しみ、親睦を深めました。

結果は1位「姫長生会」、2位「天坂」、3位「松波A」となりました。おめでとうございます。

受賞を報告する草山さん



## 学校保健功労者表彰

町内小中学校の学校歯科医を37年勤務した草山和人さん(小木)へ8月20日、石川県教育委員会から功労者表彰がありました。

永年にわたり学校保健の向上と充実に尽力した功績による学校保健分野での表彰となりました。昭和59年5月から小木小中学校、平成28年4月から松波小中学校の学校歯科医を令和3年3月まで務め、児童生徒のむし歯の予防活動などに尽力されました。

## 宮地夏祭りへ星稜学生が参加

9月19日、宮地地区の祭礼に金沢星稜大学の学生38人がキリコの組立や担ぎの人足として参加し、キリコ1基、神輿1基を担ぎ町内を回りました。

宮地地区の祭礼でキリコと神輿が揃って巡行するのはなんと30年ぶりの開催となるため、久しぶりの祭りに地域の人たちは大いに喜びを見せました。昨年は台風の影響もあり、祭りが中止となりましたが今年は雨に見舞われることなく行なわれ、学生と地域が一体となり祭礼は大いに盛り上がりしました。



神事を行なっている様子



神輿に集まり祭礼を楽しむ星稜大学生

## 地 宇出津商店街まつり 歩行者天国

9月10日、宇出津の新町通りでは、商店街まつりが行われ、多くの観客で賑わいました。

いやさか太鼓と鼓友の皆さんによる演奏は力強い音色の中にどこか繊細な響きも残しており、見物客を魅了して催しの幕が上がりました。歌や演奏とはまた違った盛り上がりを見せたごいた大会や、和泉佑佳さんらによる歌謡ショーも行われ、キッチンカーや出店が並んだ商店街は遅くまで熱気に包まれていました。



会場に集まる大勢の観客たち

眞智教育長と NotoAllStars の皆さん



## 生 NotoAllStars 生涯スポーツで能登に元気を

9月19日、能登(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)の50歳以上のメンバーで構成するバスケットボールチーム NotoAllStars が能登町役場を訪れ眞智教育長に2年連続北信越大会に石川県代表として出場することを報告しました。活動を能登地区が共有し、少しでも地域に元気を届けたいという思いから2市2町の教育長を訪問しており今後も生涯スポーツ、地域クラブの観点から活動を続けると意気込みを語りました。

まちの出来事

星稜魂と描かれた中福(なかふく)